

岩手県職労

月2回刊=1415号
2014年6月30日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合 印刷所 盛岡市上田二丁目17-4 有限会社 ジロー印刷企画 一部 40円 組合員購読料は組合費に含む

医療費の自己負担を
しっかり
カバー
団体生命共済が
ますます充実
[不慮の事故/病気の発生]
入院保障は
1日以上1日目
からお支払い
じちろうの団体生命共済
自治労共済本部
詳しくは所属する組合まで

給与制度 『総合的見直し』反対!

県職連合第16回定期大会 全議案を執行部提案通り可決・承認し終わる

県職連合第16回・県職労第111回定期大会は6月14日、盛岡市の自治労県本部会議室で開かれ、安倍政権と人事院が一体で行おうとしている「給与制度の総合的見直し」阻止に向けた当面の取り組み等、全議案が承認され、向こう1年間の運動方針を確立した。

大会は代議員総数96人中、て開催された。88人の代議員(本人47人・委任状出席41人)が出席し、府と人事院は「給与制度の

総合的見直し」という手段を使い、公務員賃金の削減を目論んでいる。ここで立ち上がらなければこれからの労働運動がさらに厳しいものになることは明らかだ」とあいさつし、県職労への

てを取り下げ、これまでのたたかいに幕を下ろしたことに触れ「先輩のたたかいに学び、次の運動にどう繋げていくか、みんなで確認し合える大会にしてほしい」と呼びかけた。

2014年度運動方針(案)では、任期付職員の見直し阻止に向けて全力をあげる。とする大会宣言を

確立、人員確保など今後の確定闘争での改善を求める発言が出された。

また、「給与制度の総合的見直し」に関わっても多くの発言があり、阻止に向けて多くの組合員が結集していくため学習資料の作成を求める意見も出された。

最後に、組織強化へ分会体制の早期確立と組合加入促進、公務員賃金の総合的見直し阻止に向けて全力をあげる。とする大会宣言を

採択して大会日程を終えた。代議員の発言と本部答弁は以下のとおり。

■一般経過報告

高橋代議員(一関) 4支部合同で県南振興局長交渉を実施。現場と本部・支部が一体となった取り組みが大切だ。「深夜帯の災害当番時出勤時の自己負担」の解消に感謝する。おかしことはおかしと言いつつ、

他支部へも取り組みが広がるよう、本部も努力していく。深夜帯出勤時の自己負担解消も長年の取り組みの成果。今後も粘り強い取り組みを続けていく。

議事の部での発言

菊池代議員(気仙) 任期中で辞める任期付職員もいる。処遇面が劣っていることも影響している。改善の取り組みを強化されたい。

新任役員紹介

中川中央執行委員(青年婦人部長) 県職連合副委員長に就任した有賀工技センター労組委員長

山口代議員(県庁) 再任用の守衛も期間満了が近づいている。3人体制維持へ本部の指導を。現業は3級以上の削減という内容の総合的見直し。断固阻止の取り組み強化を。

平中央執行委員 多田中央執行委員

伊藤代議員(宮古) 山口代議員(県庁) 佐々木代議員(胆江) 菊池代議員(気仙) 高橋代議員(一関)

高川県職連合副委員長(前・工業技術センター労組委員長) 及川県職連合副委員長

尾張代議員(盛岡) 尾張代議員(盛岡) 小野代議員(二戸) 鈴木代議員(北上) 鈴木代議員(一関) 藤村代議員(県庁)

退任役員紹介

定期大会での発言者

高川県職連合副委員長(前・工業技術センター労組委員長) 及川県職連合副委員長

尾張代議員(盛岡) 小野代議員(二戸) 鈴木代議員(北上) 鈴木代議員(一関) 藤村代議員(県庁)

6月18日の東京都議会で、女性への支援拡充を訴える女性都議に対し、セクハラとも取れるヤジが飛ばされ、女性差別を指摘する多くの声都議会に寄せられている。また、福島県への放射性廃棄物の中間貯蔵施設建設をめぐる石原環境大臣の「金目」発言、麻生財務大臣の集団的自衛権をいじめに例えた発言など、相手の人権を無視した発言が続いている。▼発言者は一様に「意図とは別の表現だった」と言い訳するが、相手への差別意識があるからこそその発言であり、憲法で定める「基本的人権の尊重」の意味を理解できていないと言わざるを得ない▼安倍首相は、靖国問題、慰安婦問題などについて過去の戦争を正当化する立場をとり、相手国を挑発するかのような発言を繰り返している。戦争への反省から生まれた憲法の反省から生まれたい憲法を反省すべきではないか▼心なき暴言・失言と、国民の声を無視した国家の暴走は、基本的人権尊重の憲法理念の欠落と民主主義の崩壊に他ならない。現行憲法を遵守できていない人たちに、勝手な憲法解釈をする資格はない。



2014年度の運動方針などを決めた県職労定期大会(円内はあいさつする平中委員長)



「給与の総合的見直し」阻止へ団結ガンバロー



中川中央執行委員(青年婦人部長)



県職連合副委員長に就任した有賀工技センター労組委員長



平中央執行委員



多田中央執行委員



高川県職連合副委員長(前・工業技術センター労組委員長)



及川県職連合副委員長



伊藤代議員(宮古)



山口代議員(県庁)



佐々木代議員(胆江)



菊池代議員(気仙)



高橋代議員(一関)



藤村代議員(県庁)



鈴木代議員(一関)



鈴木代議員(北上)



小野代議員(二戸)



尾張代議員(盛岡)

(二面より)

⑦小野代議員(二戸) 議案書配布が遅かった。消費増税やガソリン価格上昇、E・T・C割引制度の変更に対応した通勤手当の改善が必要を。各地区衛生委員会について、各支部へ一定

の基本方針を示しながら対応することも必要だ。

⑧鈴木代議員(北上) 保健所協議会の再建へ各支部の協力をお願いしたい。4級・5級の最高到達者は、今年度どの程度改善されたのか。



議事に関する答弁をする大崎書記長

⑨鈴木代議員(一関) 夏季休暇が1日増えたが、「なかなか休めない」とならないような取り組みを。55歳昇給抑制、総合的見直し等で生涯賃金への影響が大きい。不利益を受けないような取り組みを。

⑩藤村代議員(県庁) 人事評価制度は、もの言えない職員・職場づくりの手段とされているのではないのか。再任用職員、臨時・非常勤職員の組織化へ、民間の間と実態交流しながら学んでいくことも必要ではないか。

本部答弁(大崎書記長)

①任期付職員からも、業務への不安や、不十分な住環境等、多くの不満の声を伺い、当局に改善を求めている。仕事に専念できるように取り組みを進めていく。

②沖繩の旅を通じ、現地を見てきたからこそ切実な実態報告。学習会等を含め、反戦平和の取り組みを強化していきたい。

③組合メリットを感じないという声がある。夏季休暇の拡大、単身赴任手当改善、

賃金カットから一時金・諸手当削減を除外させた点等の成果を通じ、メリットを進めていきたい。

④現業課題について、守衛3人体制は維持するとの当局見解を確実なものとするため取り組みを強化する。

⑤自民党政権後、企業が儲けを得られる制度が多く創られている。そういった政策的矛盾も指摘をしながら取り組みを進めていく。

⑥畜産研究所分会での所属

長交渉について、他の分会、支部でも大変参考になる取り組みだ。分会と相談しながら退職補充の取り組みを進めていきたい。

⑦議案書配布については、ダイジェスト版のH・P活用なども含めて検討したい。通勤手当改善は今年の活動の柱の一つとして受け止めていきたい。各衛生委員会での共通の課題を取り上げながら対応を進めていきたい。

⑧まずは、各職能の特殊な課題等を議論できる「場を作る」ところから進めていきたい。5級最高号給者の主幹発令は44人。少しずつ改善に向いている。

⑨夏季休暇を気軽にとれるような職場環境を当局交渉の中でも求めている。休暇

等の制度拡充だけでなくそうした環境づくりも引き続き取り組んでいく。

⑩人事評価制度のアンケート調査等を通じて当局の思うような職場にはさせない取り組みを進めたい。再任用、臨時・非常勤職員の組織化は、他県等の取り組み、民間職種との交流等を通じ検討していきたい。

⑪多くの代議員から給与制度の総合的見直しに関して発言をいただいた。3月までの反対要請署名は、一人5筆の目標に対し4割程度の達成だった。100%を達成できている県もあり取り組みを浸透しきれていない反省も踏まえ、学習資料の提供、オルグの強化等を行っていきたい。

盛岡支部・久慈支部が新体制確立

盛岡支部、久慈支部は、それぞれ今年度の新役員体制を確立した。(敬称略)

【盛岡支部】(6月6日)

支部長 加藤 秀樹(保健福祉環境部)

副支部長 千葉佐久男(産業技術短大)

村井 琢巳(経営企画部)

書記長 熊谷 勝文(県税部)

書記次長 浅沼 敏一(農政部)

執行委員 佐々木久彦(農政普及センター)

宮手 公輔(保健福祉環境部)

高橋 正明(産業技術短大)

高橋 孝司(土木部)

菊池 文明(土木部)

鈴木 公一(環境保健センター)

角掛 康紀(林務部)

高城 保志(農政部)

永田 憲一(農村整備室)

尾張 利行(畜産研究所)

会計監事 湯田 和也(経営企画部)

黒澤 克之(県税部)

久慈支部(6月12日)

支部長 佐藤 一哉(林務部)

副支部長 藤本 勝彦(水産部)

書記長 小野寺光文(水産部)

書記次長 佐々木祐介(農村整備室)

執行委員 鈴木 浩一(経営企画部)

高橋 直樹(保健福祉環境部)

久保 寿昌(土木部)

安達 雅則(農政部)

佐藤 武博(普及センター)

会計監事 高橋 清孝(経営企画部)

中村 義之(保健福祉環境部)

新規採用者の全員加入めざす

胆江支部が定期大会と歓迎会開催

胆江支部は6月25日、午後4時30分から「翠明荘」会議室で代議員37人(本人17人、委任状20人)の代議員が出席して開催された。

方針の議論では、「9月までに新規採用者の全員加入に向けて具体的な対策を持つべきだ」「昔はなぜ入らないのか全員に聞いたこともある」等意見が出された。

佐々木書記長は、支部としては、歓迎のポウリング大会等で交流の場を増やす

委員長総括答弁

多くの代議員から大変熱心な議論をいただいた。何か一つだけが突出して渦巻いているのではなく、全てが繋がって職場の閉塞感になり、社会全体で渦巻く競争の道を突き進むとといったような不安感にまで繋がっていると考える。

弱い者、一人の人でも

困った人をみんな支え、手を差し伸べる。そういう組織でありたいし、今それができるのが県職労だ。是非、職場に戻って今日の議論を踏まえて課題について話し合っていたください。そういうことで、自分たちの身近なところから県職労運動をまた呼び起こしていただければありがたい。



総括答弁を行なう平中委員長



新規加入者に記念品を贈る佐藤支部長



組織拡大に向けて団結ガンバロー

他、若い人たちの学習の場を持ちながら組合の存在意義を示していくとすると答弁。賛成多数ですべての議案について執行部が提案した通り承認した。

また、大会終了後は新規採用者の歓迎会も開催。50人が参加して大きな盛り上がりを見せ、さらなる団結を強める機会となった。

自然災害共済なら
もしもの時にも安心!!

地震・風水害から盗難まで幅広く保障してくれるよ。

詳しくは組合までお問い合わせしてね☆

例えば...
こんな時でも...

※自然災害共済は、火災共済に付帯しての契約になります。自然災害共済のみの加入はできません。

自然災害共済

全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合